# ほんま進 県議会だより vol.15

ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。
ほんま進 事務所
〒260-0824千葉県千葉市中央区浜野町1408
TEL.043-268-1100　FAX.043-263-9568
URL http://www.s-honma.jp/　Email s-honma@mbr.nifty.com

## 平成26年度2月補正予算において地域消費喚起型事業・地方創生先行型事業など101億6,700万円を計上。

## 平成27年度一般会計の当初予算額1兆7,095億7,600万余円

2月定例県議会が2月13日招集され、3月13日閉会しました。

今回、提出されました案件は、平成27年度当初予算案、平成26年度補正予算案、各種条例案、その他附帯議案95議案のほか、報告1件でした。

森田知事から、「平成27年度一般会計の当初予算額は1兆7,095億7,600万余円」との説明がありました。

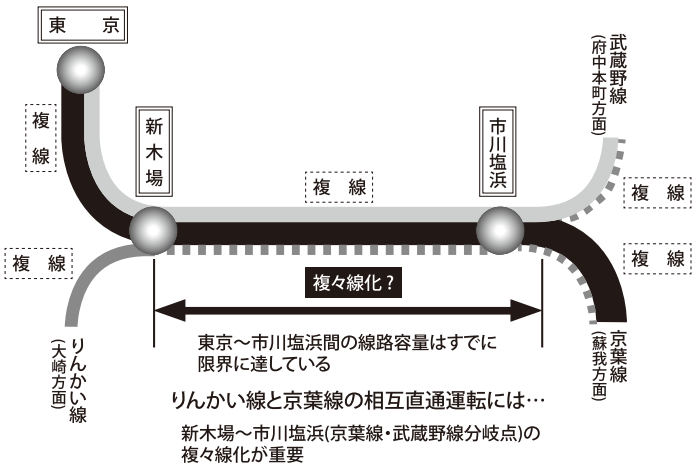
主なものとしては、「くらし満足度日本一」の千葉の実現に向け、経済対策として、2月補正予算において国の新たな交付金を活用した地域消費喚起型事業や地方創生先行型事業などの予算を計上しており、当初予算と一体として事業を実施してまいります。

平成27年度は、着実に成果をあげなければいけない年、と位置づけています。との説明がありました。

## 成田空港や都心等へのアクセス向上のための改善策を検討!!

### 京葉線とりんかい線の相互直通運転の実現が前進!!

京葉線(新木場～市川塩浜間)複々線化の必要性(イメージ図)




前号に引き続き、京葉線とりんかい線の相互直通運転について、総合企画水道常任委員会において質問をしました。

**【ほんま進】**

**平成27年度当初予算案にあった「千葉県における鉄道アクセス向上に関する調査」について、「国の交通政策審議会の次期答申に向け、成田空港や都心等へのアクセス向上のための改善策を検討」するとのことですが、具体的にはどのようなことを検討していく予定なのか。**

**交通計画課長から**

来年度実施される「千葉県における鉄道アクセス向上に関する調査」において、成田空港や都心等への鉄道アクセスについて、アクセス向上策の提案や各施策の需要予測・事業採算性の検討、実現に向けた課題整理等を行う予定です。

具体的には、成田空港へのアクセス改善では、空港付近の単線区間の複線化等について、また、東京都心へのアクセス改善では、複々線化を含めた京葉線の輸送力増強策について、検討する予定です。

**【ほんま進】**

**京葉線の輸送力増強策について検討するとのことですが、JRの羽田空港アクセス構想など、京葉線とりんかい線の相互直通運転が現実味を帯びてくる中、心配しているのは、りんかい線直通列車によって、東京行きの列車が減らされるのではないかということ。**

**県では、りんかい線との相互直通運転の実現に向け、取り組んでいますが、この問題についてどのように考えているか。**

**交通計画課長から**

JR東日本によると、朝のラッシュ時の京葉線の線路容量はほぼ限界であり、仮にこの時間帯にりんかい線直通の列車を走らせるには、東京行きの列車を減便せざるを得ない状況です。

ただし、東京行き列車の減便は、京葉線を利用して八丁堀駅や東京駅等に向かう乗客の利便性を低下させる恐れがあります。

このため、県では、京葉線の輸送力増強が必要と考えており、来年度の調査の中で、京葉線の一部区間を複々線化した場合の需要予測や事業採算性等について、検討を行う予定です。

**【ほんま進　要望】**

**京葉線とりんかい線の相互直通運転は、羽田空港や新宿方面とのアクセスを飛躍的に向上させるものであり、ぜひ実現させてもらいたい。しかし、東京行きの列車についても、新幹線や他のJR線等を乗り継ぐ乗客にとって必要な存在であり、京葉線の総武線のバイパス機能という点からも非常に重要です。**

**りんかい線との相互直通運転が実現した際に、東京行き列車が減便とならないよう十分に検討していただきたい。**

## 東京五輪を前に、千葉県が障害者スポーツに取り組む姿勢を世界にアピールする絶好の機会!!

### 車いすバスケットボール アジア・オセアニアチャンピオンシップ

千葉市で開催される国際大会について、総合企画水道常任委員会において質問をしました。

**【ほんま進】**

**車いすバスケットボール アジア・オセアニアチャンピオンシップについて質問します。**

**この大会は、車椅子バスケットボールのリオデジャネイロ・パラリンピックの出場国を決める重要な大会と聞いています。**

**また、東京オリンピックパラリンピックを前に、千葉県が障害者スポーツに取り組む姿勢を世界にアピールする絶好の機会です。**

**地元選出議員として、千葉市で開催される本大会をぜひとも、成功させなければならないと考えます。**

**そこで、千葉県は大会を主催する団体や千葉市とどのように連携していくのか。**

**政策企画課長より**

車いすバスケットボール アジア・オセアニアチャンピオンシップについては、千葉市とともに誘致を行い、10月に開催することが決定いたしました。今後の大会の準備・運営につきましては、日本車椅子バスケットボール連盟会長を委員長とする実行委員会が3月7日に発足しましたので、県も、千葉市や競技関係者とともに実行委員会委員として競技運営のほか輸送、宿泊、救護等の準備を進め、大会の成功に向け万全を期してまいります。

**【ほんま進】**

**大会を成功させるためには、関係者の連携に加え、様々なボランティアの協力が不可欠であるとともに、市民を挙げて大会を盛り上げていく必要もあると思います。**

**大会をサポートするとともに、大会を盛り上げていくため、多くの県民や市民に参加してもらうことが必要と思うがどうか。**

**政策企画課長より**

本大会には、約250名の車椅子選手に加え、コーチ等を含めると、300名近くの選手団が参加しますので、選手のサポートや通訳、大会運営など、多くのボランティアの方々のご協力が必要と考えております。このため、県としても市内の大学を中心に語学ボランティアや大会運営のボランティアのご協力をお願いした所、大学側からも前向きな回答をいただいてるところです。

また、大会を盛り上げるため、高校生が開会式のイベントや文化交流などの企画に参加できるよう、現在、関係者で検討しているところです。

**【ほんま進】**

**ぜひ、県民、市民を挙げて、選手たちが最高の試合ができるよう、協力体制を築き、しっかりと取り組んでいただきたい。**

**最後に要望として、選手たちにとって、多くの観客の前で試合ができることは最高のおもてなしです。大会に参加した各国の選手たちが千葉で試合ができて良かったと思えるよう、千葉県としても、大会の機運醸成に努めるよう要望します。**